

## 協議テーマ『生涯学習施設を拠点とした人づくり・つながりづくり・地域づくりについて』

## 1 協議テーマの趣旨

三田市の生涯学習施設は、地域住民の生涯にわたる学習や交流の機会を提供している。現状の取り組みをさらに良くしていくために、社会教育人材（学識者や実務者）の立場から、生涯学習施設が拠点となって、地域の方々のつながりづくりや人づくりの場となるような、新たな視点やアイデアをいただく場としたい。

※諮問・答申という形ではないが、生涯学習審議会での意見を今後の事業展開の参考とする。

※教育長・教育委員会との意見交換会も同テーマとする。

※令和8年度阪神北地区社会教育委員協議会（三田市が幹事市）の研究テーマにつながる内容としたい。

【社会背景】人口減少と担い手の減少、人間関係や地域とのつながりの希薄化の懸念

## 2 各施設の現状(利用者、事業内容、地域等との関わり) ※資料6-2参照

## 3 意見交換

## 【課題の例】

## ①利用者の偏り、今後の利用者の減少

- ・特定世代や対象者に偏りがち、人口減少による利用者減の懸念。

## ②多世代交流

- ・学びが個人の「趣味」に留まり、「人づくり、つながりづくり」や地域課題解決に結びつきにくい。
- ・子ども、若者、子育て世帯、高齢者の多世代交流や共に学ぶ仕掛けが弱い。

## ③地域人材の発見・活用

- ・市民活動者やボランティアが「社会教育人材」として認識されていない。
- ・活動者自身も「社会教育の担い手」という自覚が薄い。

## ④さらなる施設間・事業間・多様な人材との連携

- ・施設が個別に事業を展開し、一定連携がある一方、さらなる「人づくり、つながりづくり」につながる連携が弱い。

## ⑤学びを地域課題解決へつなげる仕組み

- ・学びの成果を地域に還元する「学びの好循環」の形成が弱い。

## 【議論の視点】

- 生涯学習施設を拠点とする・・・ 学び・活動のきっかけ、人が集まる居場所、交流のハブ機能
- 人づくり・・・ 主体的な学びと成長、人材育成、子どもの育成、施設間での人材共有の可能性
- つながりづくり・・・ 学びを通じた他者との出会い、多世代交流、施設同士のネットワーク化
- 地域づくり・・・ 学びの成果を活かし、主体となって地域課題に取り組む

## 【議論の目標】

- 新たな視点、アイデア、取り組み等
- 次回審議会に向けてまとめ